

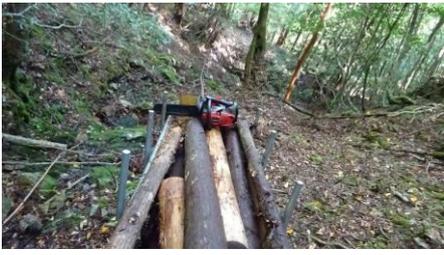
新宮山彦ぐるーぷ第2325回

行仙宿、補給路拡幅用の土止め板作りなど

◇実施日 10月1日(火) 晴

◇参加者 梶野照雄、湯川一郎 2名

午前10時、登山口に着くと湯川君が到着直後だった。



丸太を降ろす



樹皮を剥ぐ



製材

まずは、先日モノレール脇に残した丸太を運ぶ。直径が15cmほどのものを11本、10cmの物を新たに2本加えた。登山口に降りて丸太を降ろす。チェーンソーを出して製材を始める。湯川君は樹皮を剥ぐ作業を続けた。15枚ほどの板を切り出し、モノレールに積んで終点に向かった。もの置き場にあった大きい丸と支柱パイプ10本ほども同時に積んだ。旧終点にあった杭も拾い集めた。コジマハ

ウスに板や支柱を降ろして小屋に向かう。小屋に着いて、先日持ち帰って掃除したチェーンソーを物置に収納、湯川君は壊れていたポリタンクのコックを取り換えた。



板などを運ぶ



板を降ろす



掃除したチェーンソー



コックを交換



本日の参加者



岩に鉄筋を打ち込む

小屋で昼食を摂り、開けた窓を閉めて戸締りを確かめて終点に向かう。100mほど下った山側に岩が続く場所に架橋するため、しっかりと岩に穴を開けて鉄筋を打ち込んだ。4カ所に鉄筋を打ち込み上方まで糸を張ってみる。糸を止めるために鉄筋を打ったが、場所を移動しても5cmくらいしか入らない。どうやら山側の岩が補給路の下まで続いていて、現在歩いているのは岩の上に乗った土を踏んでいるようだ。次回は土を掘って、岩が露出するかを確かめたい。土の下に岩が続くようであれば、穴を開けて鉄筋を打ち込み、コンクリートで橋台の製作が可能になる。想定通りに事が運べば、橋の長さは4mになる。



30枚ほど作った

流れは弱い

上は溢れている

登山口まで降りて製材の続きを始める。湯川君は先に帰宅した。3本目の丸太を切っていると、帰ったはずの湯川君が戻ってきた。忘れ物でもしたのかと思ったら、少し下の橋で点検作業をしていて通れなかった。30分位でクレーン車が移動するので待つてほしい、

と言われたそう。作業は5時までには終わると思うので燃料がなくなるまで製材を続ける、と伝えて別れた。

午後4時前になり、持ってきた1リッターの燃料を使い切り作業を終える。30枚ほどの板をガードレール横に立てかけチェーンソーを片付けて下山した。登山口の水場はホースから出る水量が極端に少ない。ホースの取水口が詰まっているのかと登ってみたが、上部の水量は多く、水溜の樽から溢れ出していた。フィルターが影響しているようだ。もつと目の粗いフィルターの方がいいのかもしれない。橋の点検作業は終了して、数人が後片付けをしていた。

(記：梶野)

行動タイム

09:57 補給路登山口→10:10 第一ベンチ下付近 10:44→10:50 補給路登山口 11:45→コジマハウス 12:10→12:23 行仙宿 13:12→13:16 岩に穴開け 13:32→コジマハウス 13:45→14:03 補給路登山口 16:05